

## 第1回 YBact についての事務局説明用資料

## ■ YBアクトの設置主旨

YBアクトは、市が市民ニーズに沿った事業を実施するために、市芸術監督（市民生活部）に次年度に実施する鑑賞事業の企画案や文化芸術を推進する事業の提案を行うもの。

養父市が、文化芸術施策を推進するにあたり、

▼Why なぜ

市民が望む文化芸術事業とは何かを見定めて効果的に実施するため

▼Who だれが

YBアクトのメンバー（市民メンバーと学識メンバー）と共に

▼When いつ

n年度の前半にn+1年度の事業を計画する

▼How どうやって

意見徴収会やメール集中受付期間などを実施し、多くの意見を拾い上げ、まとめることで、

▼What なにを

市がすべき事業（例）

- ・市が主体となって実施：市がどのような事業を市民に提供するのか
- ・市民が主体となる仕組み：市民がどうやって施設を使うのか（利活用促進）
- ・官民：リーダーを見つける、育てる

▼Where どこで

YBファブを拠点として市内各ホールや公民館など、効果的に事業を実施できる場所で

▼Howmach いくらで

国県補助金、入場料収入などを活用し予算を効果的且つ効率的に配分して（市主体）

市民ニーズに沿った文化芸術事業を企画・提案するもの

## ■ YBアクトメンバーの役割

市民メンバーには主に次の2つのことを期待している

①市民の声を集約する（アンケートなどの結果を見て）

②YBアクトの役割について力を発揮してもらう（文化芸術について関与されている方が多い）

学識メンバーは、情報提供や事例紹介など、円滑にすすめるためのサポートをお願いしたい。

■ R3年度におけるR4年度事業計画の決定までの流れについて

① 10月26日 第1回打合せ会

協議事項

- ・ 市民ニーズの把握について（アンケートの内容確認）  
➡ メンバーによる内容のチェック ➡ アンケートの実施
- 意見交換 ➡ 文化芸術のあり方、市民の活動を広げる

② 11月中・下旬 第2回打合せ会

協議事項

- ・ アンケート結果について意見交換とR4事業計画（素案）作成  
（全体の配分、具体事業（ジャンルまででも可）、優先順位など）
  - ・ YBアクトメンバーによる意見のまとめ（市への提案）
- ※意見がまとまらなければ3回目実施

R4年度事業の計画（予算2500万円）+α

事業の配分の視点について

● 音楽事業の例

- ・ アニバーサリー公演（毎年9月）や新春コンサートなどを定例で行う
- ・ 市民を育てる公演 ※学生、一般など
- ・ 世界的アーティスト、若いアーティスト、本市にゆかりのあるアーティストなど
- ・ 市民の鑑賞意欲にこたえる人気コンテンツ（大阪桐蔭高校など）
- ・ 人気ミュージシャンの公演（Pops、ロック、ブラック、ジャズ、演歌）

● 舞台芸術、講演などの例

- ・ 演劇、ダンス、歌舞伎、能楽、映画鑑賞、著名人の講演など

● その他

- ・ ホールイベントとワークショップ、クリニック、展示などとの組み合わせ

③ 市によるブッキング作業開始（メンバーのサポート含）

- ※この作業によりアーティストの日程、予算の状況により事業内容（案）が固まる
- ※市内各ホールの予定とも調整
- ※アンケート結果の公表

④ 2月上旬 メンバーによる来年度事業（案）の追認

※) 来年度は上記の作業を4月～9月頃にかけて行いたい。

■文化芸術施策で留意すべきこと（案）

- ・ホームページやSNSを活かした広報戦略
- ・人材育成
  - （市職員の専門職、オペレータースタッフ、各種団体のリーダー、など）
  - （市内の子ども達へのアプローチ）
- ・様々な使い方を実践し、施設のポテンシャルを確認すること
- ・運営の工夫（市民等からの企画募集、市民が集まり利用する工夫、高校生からの提案）
- ・維持管理の工夫
- ・文化芸術施策の中長期的戦略
- ・予算を最大限に活かすための補助事業などの活用（申請事務手続）
- ・市内4館の連携